

1 目的

- (1) 4泊5日(3泊4日)に及ぶ集団生活の中から、各種の体験を通して社会人として必要な社会生活のルールを身につける。また、他人を思いやる心を育み、共同体の一員としての自覚を高める。さらに、生徒と教師の人間的なふれあいを通して、全人格的成長を期す。
- (2) わが国の歴史・文化・産業・政治・経済等の中心である首都東京を訪れ、現地で直接見聞きすることにより、これまで学んだことに加え教室では得られないより正確な知識を身につける。
- (3) 雪の少ない天草に育った生徒たちのほとんどは、積雪下での生活体験がない。スキー研修を通して雪国の自然や生活についての理解を深める。併せてスキーの面白さ・楽しさなどウィンタースポーツへの理解を深める。
- (4) 各地の自然や風土に触れることにより、郷土天草に関する考えを再確認する。

2 修学旅行地及び内容

- (1) 「関東近郊県におけるスキー研修」の体験型研修及び「東京近郊の見学」
- (2) 出発日のうちにスキー場に向かい、翌日からスキー研修を実施する。その後、東京近郊の見学を実施する。(各社のアイデアを盛り込んだ企画の提出をお願いします)

3 期間

- (1) 平成27年12月12日(土)～16日(水)
- (2) 平成27年12月12日(土)～15日(火)

※上の(1)と(2)の2案作成してください。どうしてもこの日程が難しい場合にはご相談下さい。

4 宿泊日数

- (1) 4泊5日
- (2) 3泊4日 ※出発時刻と帰着時刻の配慮をお願いします。

5 旅費

79,000円未満

※経済状況からできるだけ配慮をお願いします。

※どうしてもこの旅費でのプランが難しい場合にはご相談下さい。

6 参加者数(予定)

平成27年度2年生 122名(男子 38名+女子84名)+教職員7名の予定

7 交通手段

- (1) 往復は航空機を利用する。
- (2) その他の移動は貸し切りバス5台を使用することとするが、天草から熊本空港までの移動はこの限りではない。

8 その他

- (1) 企画書は2案以上の提出をお願いします。
- (2) 9月24日(水)にプレゼンテーションをお願いします。

現在のところ当日16時10分を予定していますが、後日、時間等は担当者から連絡いたします。

1 宿舎の条件について

- (1) マル適マークがあり、安全、衛生、環境が良好であること。
- (2) 生徒が宿泊する部屋は、十分な広さを確保すること（1人あたり2畳以上）
- (3) 生徒指導を徹底させる上で、宿は一校につき一館を原則とする。また、全員が同時に集合できるスペースが確保できること。
- (4) 旅館賠償保険に加入していること。
- (5) 食事は、献立のバランス・料理方法・衛生面の配慮が十分されていること。また、食物アレルギーの生徒にも対応できること。
- (6) 宿泊は、4泊5日の場合、スキー場近郊で2泊、東京近郊で2泊を原則とする。3泊4日の旅程は、スキー場近郊で2泊、東京近郊で1泊とする。

2 スキー場の条件について

- (1) スノーボードが同時に実施できる施設が望ましい。
- (2) 一般客・他校との競合をできるだけ避けること。
- (3) スキー指導員（インストラクター）の人数を確保すること。（生徒10人に対して1人の指導員を配置）
- (4) 宿舎からスキー場までの移動時間が少ないこと。
- (5) スキー研修時間を4泊5日の場合合計8時間（2時間の4コマ）、3泊4日の場合6時間以上（2時間の3コマ）を確保すること。
- (6) 病院が近くにあること（事故等の緊急時の対応が可能であること）。

3 安全・事故防止対策等について（次の事項を書面で提出すること）

- (1) 事故防止及び安全対策
- (2) 連絡体制
- (3) 添乗員名簿（1人は「旅館管理業務を行う主任者証」「資格取得者証」を提示）
- (4) 貸し切りバス（営業登録のバスの証明）
- (5) 食事内容
- (6) 手荷物配送
- (7) 修学旅行中各種保険
 - 1 旅行損害保険（保険金は1人1千万円以上とする）
 - 2 修学旅行変更保険
 - 3 物損保険
 - 4 インフルエンザ等による伝染病感染生徒が出た場合の延泊や保護者の救援等に備えた保険

4 その他

- (1) 添乗員は4名以上とし、必ず女性添乗員を含めること。
- (2) 看護師（女性）を1人添乗させること。
- (3) 貸し切りバスは各クラス1台とし、バスガイドは1台に1人添乗させることとするが、天草と

熊本空港の間はこの限りではない。

- (4) 見積書は平成27年10月1日現在の料金で作成すること。(消費税10%)
- (5) 見積もり提出時には、できる限り宿泊施設名を記載すること。
- (6) スキーに参加できない生徒の旅行企画も計画すること。
- (7) 雪不足で、スキー研修ができない場合の代替案も計画すること。
- (8) 天候不良など飛行機での移動ができない時の交通手段を含めること。
- (9) 見積書の金額は、1人当たりの金額とし、次の項目の金額が明記されていること。
 - 1 交通費
 - 2 宿泊費
 - 3 弁当代
 - 4 拝観料・入場料
 - 5 有料道路交通料
 - 6 駐車料
 - 7 添乗員経費
 - 8 看護師経費
 - 9 旅行業務取扱料金
 - 10 スキー費用(リフト代も含む)
 - 11 インストラクター経費
 - 12 損害保険等費用
 - 13 その他
- (10) 添乗員は、本校の担当として説明等の会議に出席したものが当日の引率者となること。
- (11) 見積書は12部提出することとし、提出期限は平成26年9月22日(月)の午後4時までとする。